

夢コープニュース

11

〒420-0851 静岡市葵区黒金町 12-5 丸伸ビル 6F
TEL (054) 275-1100 / FAX (054) 275-1133
MAIL honbu@yumecoop.jp / URL http://www.yumecoop.jp/

すっかり日の入りの時間が早くなりました。運転者は夕方早めに点灯、歩行者は反射材等を利用するなど、お互いの存在を早めに確認できるようにしましょう。

さて、11月1日より、以下の罰則が強化されたのをご存じでしょうか。

- ① スマートフォンなどを手で保持して、自転車に乗りながら通話する行為や画面を注視する行為が新たに禁止されました。
- ② 自転車の飲酒運転禁止も強化され、自転車に乗る人にお酒を勧めること、酒気帯び運転の恐れのある人に自転車を提供することも罰せられます。

スマホの着信音が鳴ると、仕事に必要な連絡が届いたのではと気になるかもしれませんが、車も自転車も必ず停まって確認し、スマホを手にとっての運転は絶対にやめましょう。

事故は一瞬の判断ミスで起こります。どうしてあの時・・・と後悔することのないよう、ルールを守った安全運転をお願いします。

理事長 杉井 初世

***自転車運転時はヘルメット着用も忘れずに！**
あなたの身を守りましょう。



新シリーズ

介護の現場でよく使う用語 ⑥

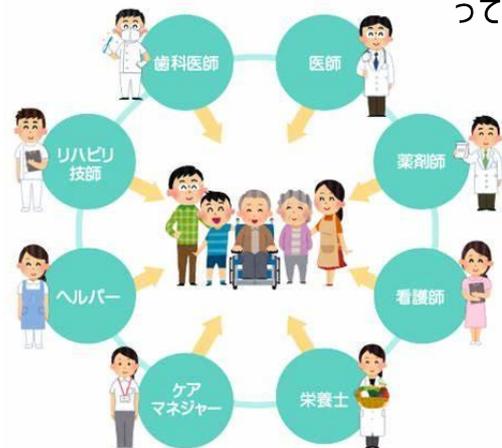
－ 何となくではなく正しく理解しましょう

脱健着患 だっけんちやうかん: 更衣の場面で、麻痺や障害があり、身体の片側が思うように動けない場合や痛みがある場合、その痛みや制限を考慮して、身体の良い側（健側）から脱ぎ、制限のある側（患側）から着ること。脱健着患の原則を守ることで、スムーズな更衣介助ができる。

ギャッチアップ: ベッドの背もたれを上げること。背部だけ上げるとずり落ちが起こりやすいため、脚上げも同時に行うことが多い。45度以上だとずり落ちだけでなく、腰や背中への圧迫やズレが生じやすいため、ギャッチアップした状態で食事介助などは推奨されていない。

より良いサービスのために 「チームケア」

対人援助の仕事では、ご利用者を中心にご家族や多くの職種の人たちが関わっていて、トラブルなどが発生しても、皆で協力してより良いケアができるように連携しあっていく事が重要です。連携とはチームの全員が、同じ目標に向かって、協力して取り組んでいくことです。



チームのメンバー

- ご利用者
 - ご家族
 - ケアマネジャー
 - サービス提供責任者
 - ヘルパー
 - 他事業所
 - 地域包括支援センター
 - 医療関係者
 - 後見人
 - 行政
- など



「チームケア」の観点から「虐待防止」について確認しましょう

夢コープでは、「虐待防止に関する指針」(別紙)に沿って事業を運用し、職員への研修も一年に一回以上行うと共に、新規職員へも入職時に研修を行っています。

【基本的な考え方】

虐待(身体拘束)防止の為の取り組みは「人権を守る為の取り組み」、利用者の人権を尊重する『適切なケア』が提供できる環境を整える。また、虐待(身体拘束)発生の防止に努めると共に、早期発見・早期対応、再発防止についてすべての職員がこれらを認識し、指針を遵守して福祉の増進に努める。

<虐待とは>

- イ) 身体的虐待: 暴力的行為によって身体に傷やあざ、痛みを与えるような行為や、意図的・継続的に外部との接触を遮断する行為。又は正当な理由なく身体を拘束すること。
- ロ) 放棄・放任: 必要なサービス利用を妨げる、世話をしない等により、生活環境や身体的・精神的状態を悪化させる。
- ハ) 心理的虐待: 脅しや侮辱などの言葉や態度、無視、嫌がらせ等によって精神的に苦痛を与えること。
- ニ) 性的虐待: 本人が同意していないわいせつな行為やその強要。
- ホ) 経済的虐待: 本人の同意なしに財産や金銭を使用し、本人が希望する金銭の使用を理由なく制限する事

<スピーチロックとは>

言葉や態度により対象者の行動に制限をかけることは身体拘束に当たる行為とされます。具体的には「～しなさい」と行動を制限したり、「立っちゃダメ」と行動を抑制することがこれにあたります。

- ・認知症の方に対して、「何回も言わない」「何回言ったら分かるの?」
- ・「早く食べて」と急がせる言葉を言う。
- ・同じことを何回も言う人に「うるさい」と言う。

スピーチロックは「声かけ」という行為において発生するものです。

【ヘルパーが関わってしまいそうなこと】

- ・スピーチロック
- ・強引な着替え
- ・食事の強要
- ・自分の考えを押し付ける 例えば「だらしがないから家族が近づかないのよ」

みんなで例をあげて話し合ってみましょう！

もしかして、これって虐待？

どうしたら良かった？

緊急やむを得ない場合の身体拘束の対応があった場合、文章で次の記録が必要です。

- ・その態様(状態・様子)および時間
- ・その際の本人の心身の状況
- ・緊急やむを得なかった理由

虐待(身体拘束)を発見したら、
不適切と思われるケアを発見したら、

- ・体にあざがある
- ・放置されている

疑いがあると思われたら、

まず、事業所へ連絡する!!

！人で解決することはできません。ここで大切なのは「**チームケア**」です。
より良いケアにつなげていきましょう。

参考資料：夢コープ手帳、「虐待防止に関する指針」

島田の『バリアフリーてけてけ隊』

事業所
リレー
つうしん



this month
11月

中部事業所

島田市障害者福祉連絡会は「バリアフリーてけてけ隊」と称して、障害者の外出促進のために受け入れを意思表示する店舗へステッカーを配布する活動をしています。今、インターネットで全国に広がり、500店舗まで増えているそうです。

10月20日に行われた「秋の感謝祭 in 島田市商店街」は今年で第10回になり、中部事業所のヘルパーも移動支援で参加しました。今年は島田商店街の「元気市」と同時開催だったこともあり、スタンプラリーやステージショー、縁日、手作りお菓子の販売など、とてもにぎやかでした。

小さな子からお年寄り、障害のある人、ない人、たくさんの人の笑顔が見られました。



【こころのバリアフリーステッカー】

定例理事会 10月23日(水)

- ① 短時間正規職員就業規則改定
- ② 福利厚生規程改定
- ③ 異動に関する承認事項

9月度活動結果報告

夢コープ職員数 294名	実働数 290名
--------------	----------

事業	活動時間数
くらしの助け合い	1,612.25時間
介護保険 訪問系サービス	4,532.25時間
障害福祉サービス	1,594.00時間

居宅介護支援	要介護	総合支援
	434名	196名

施設名	開所日	当月利用者数	利用者数/1日
どうぞの家	25日	16名	6.32名
夢コープふじ	25日	13名	6.08名
夢コープいた	15日	31名	6.80名

交通安全スローガン

自転車も 人も車も 譲り合い



ヘルパーさん紹介♪

富士宮事業所 佐野富子さん

絶景に魅せられて60余年

富士山富士宮口6合目「宝永山荘」は100年の歴史のある山小屋です。海拔2,500mにあり、夏の山開きから2か月余り、多くの登山客に宿泊と食事を提供している施設です。毎年、この時期だけ山荘でお仕事をしながら夢コープのヘルパーを10年。共通するのは「人が好き」「ありがとう」と言われること。

ご実家が経営しているので小学生の頃から毎年登山。一日80～100人の宿泊者を5、6人のスタッフで切り盛りしています。電気は自家発電、雨水をろ過した水はとても美味しいそうで、天ぷらもカラッと揚がる。宿泊者の七割近くが外国人でとても人気があります。

日の出と共に一望に見渡せる雲上からの景色は、西は三保の松原から東は鎌倉まで、言葉に尽くせないほどの輝きにあふれています。

